

いちご^{いちえ}一会とちぎ大会

第22回 全国障害者スポーツ大会 夢を感動へ。感動を未来へ。2022

第 22 回全国障害者スポーツ大会
栃 木 県 準 備 委 員 会

第 5 回 会 議



とちまるくん

「いちご^{いちえ}一会とちぎ大会」
マスコットキャラクター

平成 31 (2019) 年 3 月 13 日 (水)
栃木県庁北別館 402 会議室

第 22 回全国障害者スポーツ大会栃木県準備委員会 第 5 回会議 資料目次

○報告事項

- 報告事項 1 第 22 回全国障害者スポーツ大会栃木県準備委員会
委員の変更について P1
- 報告事項 2 第 18 回全国障害者スポーツ大会について P2
- 報告事項 3 第 77 回国民体育大会・第 22 回全国障害者スポーツ大会
イメージソング及びダンスについて P11

○審議事項

- 第 1 号議案 第 22 回全国障害者スポーツ大会
大会会期（案）について P13
- 第 2 号議案 第 22 回全国障害者スポーツ大会
会場地（案）について P15
- 第 3 号議案 第 22 回全国障害者スポーツ大会
オープン競技実施基本方針（案）について P17
- 第 4 号議案 第 22 回全国障害者スポーツ大会
会場地設営等基本方針（案）について P18
- 第 5 号議案 第 22 回全国障害者スポーツ大会
開催基本計画（案）について P19

○説明事項

- 説明事項 1 第 22 回全国障害者スポーツ大会栃木県準備委員会の
今後の予定について P27
- 説明事項 2 宿泊施設調査の実施について P28

第22回全国障害者スポーツ大会栃木県準備委員会 委員の変更について

平成30(2018)年7月12日から3月13日までの間における役員及び委員の変更等については次のとおりである。

○委員

(敬称略)

| 団体名及び役職 | 新 | 旧 |
|------------------|-------|-------|
| 一般財団法人栃木陸上競技協会会長 | 横松 盛人 | 高橋 文吉 |

第18回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」について

1 大会日程

| 日付 | 大会日程 | 行事等 |
|-----------|----------------|----------------------------|
| 10月11日(木) | 選手団来県 | ・選手団来県 |
| 10月12日(金) | 選手団来県 公式練習等 | ・全国代表者会議 ・監督会議 ・公式練習 |
| 10月13日(土) | 大会1日目 | ・開会式 ・競技 |
| 10月14日(日) | 大会2日目 | ・競技 |
| 10月15日(月) | 大会3日目 | ・競技 ・閉会式 |
| 10月16日(火) | 選手団離県 | ・選手団離県 |

2 選手団来県


| 選手団到着時の福井駅 | 選手団到着時の小松空港 |
|---|--|
|  |  |



3 公式練習

| 陸上競技 | フライングディスク |
|---|--|
|  |  |

| | |
|---|--|
| 卓球 | サウンドテーブルテニス |
|  |  |

4 開会式

| | |
|---|--|
| 歓迎県民イベント① | 歓迎県民イベント② |
|  |  |
| 役員・選手団入場 | 開会宣言・大会会長あいさつ |
|  |  |
| 炬火入場・点火 | 選手代表宣誓 |
|  |  |

| | |
|---|--|
| 式典演技① | 式典演技② |
|  |  |

5 競技会場

(1) 行啓

| | |
|--|---|
| 還啓 | ロイヤルボックス |
|  |  |

(2) 会場設営

| | |
|---|--|
| 陸上競技 | 水泳 |
|  |  |
| アーチェリー | 卓球 |
|  |  |

| | |
|---|---|
| 卓球 (サウンドテーブルテニス) | フライングディスク |
|  An indoor sports facility with a sound table tennis table and several chairs in the foreground. |  An outdoor sports field with a large white canopy structure in the foreground and a green field in the background. |
| ボウリング | 車いすバスケットボール |
|  A bowling alley with several lanes and people playing. |  An indoor basketball court with wheelchair players and spectators. |
| グラウンドソフトボール | バレーボール (身体) |
|  An outdoor softball field with a sand infield and a green outfield. |  An indoor volleyball court with a wooden floor and a net. |
| バレーボール (知的) | バレーボール (精神) |
|  An indoor volleyball court with a wooden floor and a net, viewed from a distance. |  An indoor volleyball court with a wooden floor and a net, viewed from a distance. |

| | |
|---|--|
| フットベースボール | オープン競技（卓球バレー） |
|  |  |
| オープン競技（車いすテニス） | オープン競技（ゲートボール） |
|  |  |
| その他（競技補助員） | その他（競技補助員） |
|  |  |

(3) バリアフリー対策等

| | |
|---|--|
| 仮設多目的トイレ | 床養生（ステップボード） |
|  |  |

| | |
|---|--|
| 車いす観覧席 | 情報保障席 |
|  |  |
| モニター | ヒアリンググループ |
|  |  |
| 手話映像撮影風景 | 車いす貸出所 |
|  |  |

6 閉会式

| | |
|---|--|
| 県民参加イベント(映像プログラム) | 皇族おことば |
|  |  |

| | |
|---|--|
| 大会旗引継 | ファイナルコンサート |
|  |  |

7 ボランティア

(1) 運営ボランティア

| | |
|--|---|
| ドリンクサービス | 式典補助 |
|  |  |

(2) 情報支援ボランティア

| | |
|---|--|
| 競技会場入口での歓迎 | 競技会開始式での情報保障 |
|  |  |
| 大型モニターによる情報保障 | 開会式における手話通訳 |
|  |  |

| | |
|---|--|
| 競技結果の記入 | ユニフォーム |
|  |  |

(3) 選手団サポートボランティア

| | |
|--|---|
| 選手の移動サポート | 練習サポート |
|  |  |

8 その他

| | |
|---|--|
| シャトルバス乗降所 | ふれあい広場 (はぴりゅう広場) |
|  |  |
| 福井駅総合案内所 | ドリンクサービス |
|  |  |

9 本県の参加状況（過去2年間）

| 競技名 | | 第17回愛媛大会（H29） | | | | 第18回福井大会（H30） | | | | | |
|-----------|-----------------------|---------------|--------------|-------|-----------------------|---------------|------|----|----|----|---|
| | | 選手数 | メダル数 | | | 選手数 | メダル数 | | | | |
| | | | 金 | 銀 | 銅 | | 金 | 銀 | 銅 | | |
| 個人競技 | 陸上競技 | 15人 | 4 | 6 | 6 | 18人 | 9 | 9 | 4 | | |
| | 水泳 | 4人 | 3 | 3 | 1 | 4人 | 4 | 2 | 0 | | |
| | アーチェリー | 0人 | 0 | 0 | 0 | 1人 | 0 | 0 | 1 | | |
| | 卓球（SSTを含む） | 4人 | 1 | 0 | 3 | 4人 | 1 | 1 | 2 | | |
| | フライングディスク | 4人 | 2 | 0 | 1 | 3人 | 0 | 3 | 0 | | |
| | ボウリング | 2人 | 0 | 1 | 1 | 2人 | 0 | 1 | 0 | | |
| | 個人競技計 | 29人 | 10 | 10 | 12 | 32人 | 14 | 16 | 7 | | |
| 団体競技 | バスケットボール | 男子 | （関東ブロック予選出場） | | | （関東ブロック予選出場） | | | | | |
| | | 女子 | （関東ブロック予選出場） | | | （関東ブロック予選出場） | | | | | |
| | 車いすバスケットボール | | （関東ブロック予選出場） | | | （関東ブロック予選出場） | | | | | |
| | ソフトボール | | （関東ブロック予選出場） | | | （関東ブロック予選出場） | | | | | |
| | グラウンドソフトボール | | （関東ブロック予選出場） | | | （関東ブロック予選出場） | | | | | |
| | バレーボール | 身体男子 | （関東ブロック予選出場） | | | （関東ブロック予選出場） | | | | | |
| | | 身体女子 | （関東ブロック予選出場） | | | （関東ブロック予選出場） | | | | | |
| | | 知的男子 | — | | | （関東ブロック予選出場） | | | | | |
| | | 知的女子 | — | | | （関東ブロック予選出場） | | | | | |
| | | 精神 | — | | | — | | | | | |
| サッカー | | （関東ブロック予選出場） | | | （関東ブロック予選出場） | | | | | | |
| フットベースボール | | （関東ブロック予選出場） | | | （関東ブロック予選出場） | | | | | | |
| 総計 | | 選手数 | メダル数 | | | 選手数 | メダル数 | | | | |
| | | 29人 | 金 | 10 | 10 | 12 | 32人 | 金 | 14 | 16 | 7 |
| | | | 32 | | | 37 | | | | | |
| 選手延数※ | メダル獲得率 （メダル数/選手延数） | | | 選手延数※ | メダル獲得率 （メダル数/選手延数） | | | | | | |
| 58人 | 55.2% | | | 61人 | 60.7% | | | | | | |

※選手延数：選手ごとの出場種目数の合計（リレー種目含む）

なお、リレー種目のメダル数については1チーム（4人）あたり1つとして集計。

第77回国民体育大会・第22回全国障害者スポーツ大会
イメージソング及びダンスについて

1 イメージソング

募集期間:平成30(2018)年1月22日～平成30(2018)年4月13日

応募総数:152件

| | |
|-------|---|
| 作品名 | いちご一会 |
| 作詞・作曲 | かさぎ あつし 笠木 敦志 (千葉県柏市在住) |
| 歌唱 | サトウ ヒロコ (シンガーソングライター) ・壬生町在住 ・栃木県「とちぎ未来大使」 ・壬生町「かんぴょう大使、ふるさと夢大使」 |
| 編曲 | たべい 田部井 とおる (作曲・編曲家、ギタリスト) ・宇都宮市在住 ・宇都宮大学非常勤講師 |

※吹奏楽版及び合唱版を制作中。録音終了後に公表。

2 ダンス

| | |
|-------|--|
| ダンス振付 | やまだ きみえ 山田 喜美江 (山田リズム体操クラブ代表) ・佐野市在住 ・日本女子体育連盟S級指導員 ・栃木県女子体育連盟会員 ・日本初のバリアフリーダンスコーディネーター |
| 制作内容 | ・スタンダードバージョン 小学校高学年から中・高校生、ダンス経験者までが楽しめるダンス ・イージーバージョン 幼稚園児や保育園児、小学校低学年が簡単に楽しめるダンス ・シットイングバージョン 身体障害者や高齢者等が座って楽しめるダンス |

いちご一会

笠木 敦志 作詞・作曲

夢を感動へ
感動を未来へ
心をひとつに
夢は分かち合える
トキメキを胸に
情熱を大地に
空を突き抜けて
風を追い越して

いちご一会
この瞬間
思いを馳せた
舞台が今ここに
花は可憐に
滝はまぶしく
君は輝け

※VERY VERY GOOD
BERRY BERRY とちぎ
(2回繰り返す)

夢を感動へ
感動を未来へ
どんな人だって
つまづく事もある
だけどくじけずに
そして繰り返し
一つずつ登る
想いを重ねて

いちご一会
この瞬間
真っ赤になった
情熱解き放て
緑あふれて
風はきらめき
君は輝け

※ 繰り返し
時は過ぎても
忘れはしない
この感動を

※ 繰り返し

第22回全国障害者スポーツ大会 大会会期（案）

第22回全国障害者スポーツ大会の会期については、第77回国民体育大会の会期を栃木県第1案と見込み、以下のとおりとし、全国障害者スポーツ大会開催基準要綱5（3）に基づき、文部科学省及び公益財団法人日本障がい者スポーツ協会（以下、日障協）とする）と協議する。

1 大会会期

- 第1案 平成34(2022)年10月29日（土）から31日（月）
- 第2案 平成34(2022)年10月22日（土）から24日（月）
- ※希望順位は第1案、第2案の順とする

【参考】

第77回国民体育大会会期

第1案 平成34(2022)年10月1日（土）から11日（火）

第2案 平成34(2022)年10月8日（土）から18日（火）

第3案 平成34(2022)年9月24日（土）から10月4日（火）

2 スケジュール（予定）

| | |
|-------------------|--------------------------------|
| 平成31(2019)年 6月 | 会期案（栃木県案）を文部科学省と日障協に提出 |
| 7月 | 第77回国民体育大会（いちご一会とちぎ国体）の大会会期が決定 |
| 8月頃 | 文部科学省、日障協からの承諾をもって会期決定 |

全国障害者スポーツ大会開催基準要綱【抜粋】

5. 大会開催の基本方針

- （2）大会は、毎年開催される国民体育大会本大会の直後を原則として、当該都道府県において3日間で開催する。
- （3）大会の会期は、国民体育大会本大会の開催決定にあわせて、開催3年前までに開催地主催者が中央主催者と協議して決定する。

【先催県の会期の状況について】

| 開催都県 | 大会会期 | 国体会期 | 大会間隔 |
|-----------|----------------|------------------|------|
| 第1回 宮城県 | 10/27(土)~29(月) | 10/13(土)~18(木) | 8日間 |
| 第2回 高知県 | 11/9(土)~11(月) | 10/26(土)~31(木) | 8日間 |
| 第3回 静岡県 | 11/8(土)~10(月) | 10/25(土)~30(木) | 8日間 |
| 第4回 埼玉県 | 11/13(土)~15(月) | 10/23(土)~28(木) | 15日間 |
| 第5回 岡山県 | 11/5(土)~7(月) | 10/22(土)~27(木) | 8日間 |
| 第6回 兵庫県 | 10/14(土)~16(月) | 9/30(土)~10/10(火) | 3日間 |
| 第7回 秋田県 | 10/13(土)~15(月) | 9/29(土)~10/9(火) | 3日間 |
| 第8回 大分県 | 10/11(土)~13(月) | 9/27(土)~10/7(火) | 3日間 |
| 第9回 新潟県 | 10/10(土)~12(月) | 9/26(土)~10/6(火) | 3日間 |
| 第10回 千葉県 | 10/23(土)~25(月) | 9/25(土)~10/5(火) | 17日間 |
| 第11回 山口県 | 10/22(土)~24(月) | 10/1(土)~11(火) | 10日間 |
| 第12回 岐阜県 | 10/13(土)~15(月) | 9/29(土)~10/9(火) | 3日間 |
| 第13回 東京都 | 10/12(土)~14(月) | 9/28(土)~10/8(火) | 3日間 |
| 第14回 長崎県 | 11/1(土)~3(月) | 10/12(日)~22(水) | 9日間 |
| 第15回 和歌山県 | 10/24(土)~26(月) | 9/26(土)~10/6(火) | 17日間 |
| 第16回 岩手県 | 10/22(土)~24(月) | 10/1(土)~11(火) | 10日間 |
| 第17回 愛媛県 | 10/28(土)~30(月) | 9/30(土)~10/10(火) | 17日間 |
| 第18回 福井県 | 10/13(土)~15(月) | 9/29(土)~10/9(火) | 3日間 |
| 第19回 茨城県 | 10/12(土)~14(月) | 9/28(土)~10/8(火) | 3日間 |
| 第20回 鹿児島県 | 10/24(土)~26(月) | 10/3(土)~10/13(火) | 10日間 |
| 第21回 三重県 | 10/23(土)~25(月) | 9/25(土)~10/5(火) | 17日間 |

大会間隔別都県数

| 日数 | 3日間 | 8~10日間 | 15~17日間 | 計 |
|----|-----|--------|---------|------|
| 都県 | 8都県 | 8県 | 5県 | 21都県 |

第22回全国障害者スポーツ大会 会場地選定（案）

開・閉会式及び競技の会場は、円滑な式典・競技運営や宿泊等の利便性、選手の負担軽減等を考慮しながら、第77回国民体育大会で使用される施設等を活用し、障害のある人に配慮した会場とする。

※会場地選定（案）は、第22回全国障害者スポーツ大会栃木県準備委員会第5回会議 当日配布予定。

第22回全国障害者スポーツ大会 会場地選定(案) 配置図〔圏域図〕

※会場地選定(案)配置図は、第22回全国障害者スポーツ大会栃木県準備委員会第5回会議 当日配布予定。

第22回全国障害者スポーツ大会 オープン競技実施基本方針（案）

第22回全国障害者スポーツ大会（以下、大会愛称「いちご^{いちえ}一会とちぎ大会」とする）におけるオープン競技は、全国障害者スポーツ大会開催基準要綱（公益財団法人日本障がい者スポーツ協会（以下「日障協」とする）制定）に定めるもののほか、この基本方針により実施する。

1 趣旨

障害者スポーツの一層の普及・振興を図る観点から、「いちご一会とちぎ大会」において、全国障害者スポーツ大会競技規則（日障協制定）に定める個人競技及び団体競技（以下「正式競技」とする）以外の競技をオープン競技として実施する。

なお、オープン競技は、正式競技の開催に支障のない範囲で実施するものとする。

2 募集

広く障害者の間にスポーツを普及する観点から有効と認められる競技について、県内の関係団体等へ公募する。

3 運営・経費

オープン競技の実施を希望する団体（以下「実施団体」とする）は、競技会開催にあたり必要な業務について、すべての運営を行う。

また、競技会開催に係る経費については、実施団体の負担とする。

4 選定基準

実施するオープン競技の選定基準は、次のとおりとする。

- (1) 実施団体が、自主運営により競技会を実施できること。
- (2) 県内に出場可能な選手・チームが存在すること。
- (3) 県外の選手・チームが出場できるルールが確立している競技であること。
- (4) 既設の競技施設により実施可能であること。
- (5) 原則として、「いちご一会とちぎ大会」の開催期間内に実施が可能であること。

5 選定手順

- (1) 平成31(2019)年8月～ 関係団体等に対し、公募
- (2) 平成31(2019)年9月～ 実施団体等との協議
- (3) 平成32(2020)年1月～ オープン競技（案）について審議・選定
- (4) 平成32(2020)年2月～ 中央主催者（文部科学省・日障協）と協議のうえ、決定

第22回全国障害者スポーツ大会 会場地設営等基本方針（案）

第22回全国障害者スポーツ大会に参加するすべての人が、安全で快適に大会を楽しむことができる会場づくりを目指す。

1 基本目標

(1) 利用しやすい会場づくり

段差解消のためのスロープや車椅子での利用が可能な広めのトイレ等の仮設物を設置するなど、すべての人にとって利用しやすい会場づくりを図る。

(2) 分かりやすい情報の提供

会場や会場周辺の多くの人が集まる場所において案内を行うボランティアの配置をはじめ、大きな文字やふり仮名を使用した案内看板や電光掲示板、ヒアリンググループの設置、インターネットによる情報発信など、すべての人に分かりやすい情報提供を図る。

2 整備の視点

(1) 安全性

障害のある人をはじめ、参加者全員に配慮した動線の設定や区分けを行い、すべての人にとって安全な会場の整備に努める。

(2) 快適性

看板等の情報伝達設備や、スロープ、オストメイト対応の多目的トイレ等の設置を行い、参加者が快適に利用できる会場づくりに努める。

(3) 簡素・効率化

既存の施設を最大限活用し、仮設物による対応を基本とする。

また、第77回国民体育大会で利用した物品等を有効活用するなど、簡素・効率化に配慮した会場づくりに努める。

【取組スケジュール】

| 平成 31 (2019)年度 | 平成 32 (2020)年度 | 平成 33 (2021)年度 | 平成 34 (2022)年度 |
|-----------------------|--|--|--|
| 開・閉会式会場 基本計画 | 開・閉会式会場 基本設計 | 開・閉会式会場 実施設計 | <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">仮設物 設置</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">リハ ーサル 大会</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">最終 調整</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">本 大 会</div> </div> |
| 会場地 バリアフリー 調査実施 | 競技会場仮設 施設基本設計 情報保障 基本方針策定 | 競技会場仮設 施設実施設計 情報保障 実施方針策定 | |

第22回全国障害者スポーツ大会 開催基本計画（案）について

1 目的

開催基本計画は、大会の運営・準備の骨子をまとめたものであり、今後も大会準備の指針として活用するとともに、広く県民にこの大会を理解していただくために作成するもの。

2 構成

| 開催基本計画の項目 | | 参考：県準備委員会審議時の名称等 |
|--------------|-----------------------|---|
| I 基本事項 | 1 開催基本方針 | ○開催基本方針 |
| | 2 大会の名称・愛称 ・スローガン等 | ○愛称・スローガン・マスコットキャラクター |
| | 3 主催者 | ●中央主催者・開催地主催者 |
| | 4 大会日程 | ●大会日程（大会会期を含む） |
| | 5 実施競技及び 競技運営主管団体 | ○競技運営主管団体 |
| | 6 会場 | ○開・閉会式会場 ◎各競技会場 |
| II 準備運営計画 | 1 競技 | ◎競技役員等養成基本方針 ●オープン競技実施基本方針 ●会場地設営等基本方針 ●競技運営（リハーサル大会、公式練習会を含む） |
| | 2 式典 | ○式典基本方針 |
| | 3 宿泊等 | ◎宿泊等基本方針 |
| | 4 輸送・交通等 | ○輸送・交通等基本方針 |
| | 5 県民運動 | ○県民運動基本方針 |
| | 6 ボランティア | ○ボランティア養成基本方針 |
| | 7 広報・報道 | ○広報基本方針 |
| | 8 運営・調整 | ●安全確保、服飾、大会メダル・参加賞等 |

※○ 第4回会議までに承認された事項（変更なし）

※◎ 第4回会議までに承認された事項で、今回一部変更を行う事項

※● 今回新たに審議を行う事項

【別冊「第 22 回全国障害者スポーツ大会開催基本計画（案）」P4】

3 主催者

主催者は、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、文部科学省、栃木県、開催地市及び関係団体とします。

【中央主催者】

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会
文部科学省

【開催地主催者】

栃木県
宇都宮市
足利市
栃木市
佐野市
鹿沼市
小山市
真岡市
大田原市
那須烏山市
一般財団法人栃木県身体障害者福祉連合会
一般社団法人栃木県視覚障害者福祉協会
一般社団法人栃木県聴覚障害者協会
一般社団法人栃木県手をつなぐ育成会
一般財団法人栃木県精神衛生協会
社会福祉法人栃木県社会福祉協議会
特定非営利活動法人栃木県障害者スポーツ協会
栃木県障がい者スポーツ指導者協議会
栃木県特別支援学校長会
栃木県中学校教育研究会特別支援教育部会
公益財団法人栃木県体育協会

Ⅱ 準備運営計画

1 競技

全国から参加する選手が、快適な環境で競技を行えるよう、競技役員等の養成を行うとともに、安全で快適に大会を楽しむことができる会場づくりを進めるなど、円滑な競技運営を図ります。

(1) 参加選手団規模

選手 約 3,640 人

役員 約 2,000 人(各都道府県、指定都市)

ア 個人競技参加選手数〔 () 内は延べ選手数〕

| 競技名 | 参加選手数 | 参加種目の内訳 |
|------------------------------|-------------------|-------------------------------|
| 陸上競技(身・知) | 960 人 (1,920 人) | 競走競技(トラック競技) 跳躍競技、投てき競技 |
| 水泳(身・知) | 310 人 (620 人) | 自由形、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライ、リレー、メドレーリレー |
| アーチェリー(身) | 70 人 (70 人) | 50m・30mラウンド 30mダブルラウンド |
| 卓球(身・知・精)〔サウンドテーブルテニス(身)を含む〕 | 460 人 (460 人) | 卓球 サウンドテーブルテニス |
| フライングディスク(身・知) | 400 人 (800 人) | アキュラシー、ディスタンス |
| ボウリング(知) | 200 人 (200 人) | |
| ボッチャ(身) | 140 人 (140 人) | |
| 合 計 | 2,540 人 (4,210 人) | |

(注) 個人競技の参加申し込みは、「全国障害者スポーツ大会開催基準要綱細則」に定めるところによります。

（２）競技役員等の養成・編成

円滑な競技運営と、障害者スポーツの普及・振興を図るため、競技運営主管団体等の関係機関の協力のもと、競技役員及び競技補助員を養成・編成します。

ア 競技役員・競技補助員

| 競 技 名 | | 競技役員 (人) | 競技補助員 (人) | 競技運営主管団体 | 協力 団体 |
|-----------------------|--------------------------------------|-------------|--------------|-----------------------------|--------------------|
| 個人 競技 (7 競技) | 陸上競技(身・知) | 370 | 200 | 一般財団法人 栃木陸上競技協会 | 高等学校・短期大学・大学・専修学校等 |
| | 水泳(身・知) | 120 | 80 | 栃木県水泳連盟 | |
| | アーチェリー(身) | 40 | 100 | 栃木県アーチェリー協会 | |
| | 卓球(身・知・精) 〔サウンドテーブルテニス (身)を含む〕 | 180 | 60 | 栃木県卓球連盟 | |
| | フライングディスク(身・知) | 130 | 190 | 栃木県障害者フライング ディスク協会 | |
| | ボウリング(知) | 40 | 30 | 栃木県ボウリング連盟 | |
| | ボッチャ(身) | 100 | 未定 | 栃木県ボッチャ協会 | |
| | 小 計 | 980 | | | |
| 団体 競技 (7 競技) | バスケットボール(知) | 70 | 60 | 一般社団法人 栃木県バスケットボール 協会 | |
| | 車いすバスケットボール(身) | 50 | 60 | | |
| | ソフトボール(知) | 80 | 40 | 栃木県ソフトボール協会 | |
| | グラウンドソフトボール(身) | 100 | 40 | | |
| | フットベースボール(知) | 70 | 40 | | |
| | バレーボール(身・知・精) | 120 | 270 | 栃木県バレーボール協会 | |
| | サッカー(知) | 90 | 60 | 公益社団法人 栃木県サッカー協会 | |
| | 小 計 | 580 | 570 | | |
| 合 計 | 1,560 | | | | |

(注) 「競技役員」は、競技運営、審判、競技記録等の業務を行います。

「競技補助員」は、競技役員の指示を受けて、競技運営の補助を行います。

（3）競技運営

ア リハーサル大会

競技運営、審判技術等の向上を図るとともに、大会に対する県民の理解と関心を高めるために、リハーサル大会を実施します。

・期 日 平成34(2022)年5月21日（土）～22日（日）

イ 全国代表者会議・監督会議

大会運営や競技運営を円滑に進めるため、各選手団代表者、監督等を対象に、大会全般の概要や競技規則などに関する会議を開催します。

・期 日 平成34(2022)年10月〇〇日（金）

ウ 公式練習会

選手が十分に調整して競技に臨めるよう、公式練習日を設けます。

（ア）期 日 平成34(2022)年10月〇〇日（金）

（イ）練習会場 本大会の会場とします。

（ウ）練習時間 あらかじめ競技・選手団ごとに指定します。

エ 競技記録、成績の収集及び発表

各競技の記録・成績の収集及び発表は、記録本部を設置し、インターネットなどを活用し、正確かつ迅速に行います。

オ 開始式及び表彰式

会場地市及び競技運営主管団体と協議のうえ、会場の特性や選手のコンディション等に配慮して、必要に応じて簡素に実施します。

カ 競技用具等の整備

競技用具及び運営用具については、競技運営主管団体と協議し、会場備え付けのもの、「いちご一会とちぎ国体」で使用したものを利用するほか、県内施設、各種団体及び民間業者からの借用あるいは購入により、競技運営に支障のないよう整備します。

3 宿泊等

大会参加者の宿泊施設の確保と障害特性に合った適切な配宿に努めるとともに、大会参加者及び一般観覧者の医事・衛生に万全を期します。

(1) 宿泊

大会参加者が心身ともに良好な状態で大会に臨めるよう、関係機関・団体等の協力を得て、おもてなしの心をもって快適な宿泊施設の確保に努めます。

ア 参加意向調査

宿泊施設ごとの受入数を調整するため、大会参加者の障害の程度や宿泊数等の調査を実施します。

イ 宿泊施設調査

大会参加者の特性に合った適切な配宿を行うため、宿舎の客室タイプや設備等の調査を実施します。

ウ 宿泊環境整備

大会参加者が快適に宿泊できるよう、宿泊施設のバリアフリー化について理解を求めるとともに、必要に応じてシャワーチェアや浴槽マットなどの宿泊を支援する用具を配置するほか、エレベーターに点字シールを設置するなど、障害特性に応じた宿泊環境の向上に努めます。

エ 宿泊料金の設定

「いちご一会とちぎ国体」との連携を図り、関係団体等と協議の上、宿泊料金を設定します。

オ 配宿

大会参加者の障害の程度や会場までの交通、大会スケジュールなどに配慮した配宿に努めます。

カ 接遇講習会

大会参加者へのサービスの向上と真心あふれるおもてなしを実践するとともに、障害者への合理的配慮を推進するため、宿泊施設の従事者を対象とした接遇講習会を実施します。

キ 食事

大会参加者に提供する食事は、安全・安心で栄養バランスが良く、豊かな自然と良質な水に育まれた栃木県産の様々な食材を利用した郷土色豊かな「いちご一会とちぎ国体」の献立を準用します。

《宿泊者数（想定）》

| 選手団 | 大会関係者 |
|------------------------|---------|
| 約5,640人 | 約1,500人 |
| 1日最大7,140人 延べ30,000人程度 | |

（2）医事・衛生

大会参加者及び観客の安全と健康のため、関係機関及び団体等の協力を得て、医療救護や防疫の体制を整えます。

また、食品衛生の徹底を図り、会場の清掃や廃棄物の適切な処理を行い、清潔で快適な環境を整えます。

8 運営・調整

大会全般の円滑な運営を確保するため、次の業務を実施します。

(1) 安全確保

関係機関・団体の緊密な連携のもと、開・閉会式会場、各競技会場における大会期間中の参加者の安全確保を図ります。

ア 会場等の警備

事件・事故等の未然防止に努めるとともに、緊急時における措置について万全を期します。

イ 交通対策

大会期間中の交通安全の確保を図るため、県民の協力を求めるとともに、実情に応じて適切な措置を講じます。

ウ 消防・防災

非常時における措置について万全を期すとともに、火災などの未然防止及び発生時の被害軽減対策に努めます。

(2) 服飾

大会全般の円滑な運営を確保するために、実施本部員、各種ボランティア等大会関係者の役割が識別できる服飾を整備します。

(3) 傷害保険等

大会の開催準備又は大会期間中の不測の事態に対応するため、傷害保険等に加入し、万一の事態に備えます。

(4) 大会メダル・参加章

大会メダルを作成し、1位から3位までに入賞した選手に授与します。

また、大会への参加と協力を末永く記念として残すため、参加章を作成し、選手・役員等に贈ります。

デザインは、「いちご一会とちぎ国体」と統一性を図ります。

第22回全国障害者スポーツ大会栃木県準備委員会の 今後の予定について

第77回国民体育大会と第22回全国障害者スポーツ大会の開催準備業務を一体的かつ効率的に推進するため、国体の本県開催が正式に決定した後、国体の準備委員会と大会の準備委員会を統合し、新たに両大会が一体となった実行委員会を設立する。

この実行委員会設立に伴い、当準備委員会は解散となる。

1 解散の時期

国体と大会が一体となった実行委員会の設立をもって解散とする。

2 実行委員会での審議事項等について

準備委員会解散後、当準備委員会で担ってきた大会の開催に必要な準備については、実行委員会において設置予定である専門委員会（全国障害者スポーツ大会専門委員会（仮称））で審議等していく予定。

ただし、国体と共通する業務（広報・県民運動、輸送・交通、宿泊・衛生、式典、警備・消防、医療救護等）については、国体の準備委員会から実行委員会に引き継ぐそれぞれの専門委員会において審議等していく予定。

なお、当準備委員会で決定した事項等については、全て実行委員会に引き継ぐこととする。

3 実行委員会での準備委員会構成団体の役割について

準備委員会の構成団体には、引き続き実行委員会の構成団体となる予定。

全国障害者スポーツ大会専門委員会（仮称）委員の就任等に関しては、改めて協議予定。

宿泊施設調査の実施について

1 趣 旨

大会参加者の適切な配宿業務を行うため、営業宿泊施設の施設概要等を調査し、データベースを作成するもの。

※国体の宿泊施設調査業務と一体で実施。

2 調査対象施設

県内約 1,200 の宿泊施設

3 主な調査内容

(1) 宿泊施設基礎調査

・客室のタイプ、客室数、収容人数等の施設概要（食事提供の可否を含む）

(2) 宿泊施設からの輸送に関する調査

・大型バスが利用できる駐車場の有無等

(3) 宿泊料金調査

・平日・休前日・休日別、部屋タイプ別、1泊2食・1泊朝食・素泊まり別の料金体系

(4) バリアフリー状況調査

・第22回全国障害者スポーツ大会（いちご一会とちぎ大会）選手団への配宿に向けた施設のバリアフリー状況調査

※スロープ、エレベーター、車いす対応トイレ、手摺りの有無等

VERY 
GOOD
LOCAL
——
とちぎ

とちぎブランド推進のキャッチフレーズ

ベリー グッド ローカル とちぎ
VERY  GOOD LOCAL

「グッドローカルなとちぎが地方のモデルになっていこう。」
ローカルの良さが詰まったとちぎが、前向きな決意を込めて宣言します。